

(2-1) トラブルの内容について



どのようなトラブルであったかたずねたところ、「商品・サービスの内容に関するもの」(51.6%)が5割を超えて最も高く、次いで、「事後の応対や苦情への対応などに関するもの」(21.1%)、「販売方法に関するもの」(13.7%)、「解約に関するもの」(10.5%)と続いている。

<性別・性／年齢別・区別結果>

性別でみると、「内容や価格以外の契約に関するもの」は、男性が女性より10.6ポイント高くなっている。

性／年齢別は基数が少ないため、参考までに図示する。

区別でみると、「商品・サービスの内容に関するもの」は緑区が6割に近づいている。

